

■ 犬ワクチンセット

▶ ワクチン効果、防御能のチェックのためのセット検査です。
全ての銘柄のワクチンでご利用いただけます。

セット名	項目	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
犬ワクチン セット Aセット	CDV 抗体 CPV 抗体	 血清（血漿） 0.1mL	常温 冷蔵	5日 以内※1	CDV：IP CPV：HI CAV-1：ELISA	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワクチン接種後の効果判定（主に若齢犬）やワクチン追加接種の必要性の確認（主に成犬）の検査です。ワクチン接種後2～3週以降に採血してください。なお、CPV-2のみの判定はワクチン接種10日後で可能です。 2. 犬以外（フェレットやキツネなど）ではCDV抗体が若干低く測定されることがあります。 3. 【結果の解釈】は一般的なものです。特にワクチン接種が必要と考えられる場合はワクチン会社にお問い合わせ、またはワクチン会社発行の技術資料を参照の上ご判断ください。
犬ワクチン セット Bセット	CDV 抗体 CPV 抗体 CAV-1 抗体	 血清（血漿） 0.15mL	常温 冷蔵			

キャニバック® 接種でのワクチン効果の測定はキャニバック® A・Bセットをご依頼ください。
但し、キャニバック® セットは1年後には検査を中止とさせていただきます。

【結果の解釈】

12 週齢以上			
CDV	CPV	CAV-1	コメント
80 以下	20 以下	20 以下	ワクチン効果、防御能が十分とは言えません。
160 ~ 320	40 ~ 80	40 ~ 80	防御可能な抗体価です。しかし、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が望ましいでしょう。1年後にワクチンを追加接種されるか、抗体検査を実施されることをお勧めします。
640 以上	160 以上	160 以上	長期間防御可能な良好な抗体価です。

10 ~ 11 週齢			
CDV	CPV	CAV-1	コメント
80 以下	20 以下	20 以下	ワクチン効果、防御能が十分とは言えません。
	40		移行抗体の可能性があるので12週齢以降の再検査をお勧めします。
160 ~ 320	80	40 ~ 80	防御可能な抗体価です。しかし、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が望ましいでしょう。1年後にワクチンを追加接種されるか、抗体検査を実施されることをお勧めします。
640 以上	160 以上	160 以上	長期間防御可能な良好な抗体価です。

各月齢における移行抗体との区別にはワクチン接種済みの健康犬100頭の抗体価を測定し、そこで得られた最高の値をもとに移行抗体の半減期から算出したデータを利用しています。

- 1 ごくまれに基準値を上回る血中抗体価であっても、ストレスや、ステロイド剤や免疫抑制剤の服用により防御が十分働かないケースがあります。また、もし将来的に流行ウイルスが変異することがあれば、既存のワクチンでは十分な予防効果が期待できなくなる可能性も否定できません。

【犬ワクチンセット (犬ワクチン抗体価検査) の基準設定について】

1 犬ジステンパーウイルス (CDV)

ワクチン抗体に関して中和試験と相関性が高く「ワクチン効果のための中和試験」の代用法として有用な、免疫ペルオキシダーゼプラック染色法 (IP 法) により、CDV 抗体検査を実施しております。これまでの報告から CDV ワクチン効果判定の基準値として、中和抗体価 20 ~ 32 が最も適当と考えられます。このため、IP 法の基準値を中和抗体価 32 から算出した値 160 に設定しております。

2 犬パルボウイルス 2 型 (CPV)

基準値である赤血球凝集抑制 (HI) 抗体価 40 は、過去に日本全薬工業が実施した感染実験で得られた成績を参考に設定しております。

3 犬アデノウイルス 1 型 (CAV-1)

CAV-1 のワクチン効果の基準値として、これまでに中和抗体価 20 ~ 42 が提唱されています。このため、弊社の基準値として 40 を設定しております。なお、ワクチンに含まれているウイルスは 2 型 (CAV-2) ですが、コア感染症である CAV-1 を確実に防御しなければならないことから、弊社では CAV-1 の抗体を測定しています。

■ グレーゾーンの設定について

ワクチンの効果は少なくとも 1 年間保持することが望まれます。このため、弊社では基準値として現在防御できる値と、長期間防御できる値、2 つの基準値を設けており、後者は前者の 4 倍の値に設定しております。これはワクチン抗体が 1 年で 1/2 ~ 1/4 程度低下することを示す試験結果に基づいております。

なお、長時間防御できる値の場合のワクチンの間隔は WSAVA ガイドラインを推奨します。(ex.3 年以上)

	判定基準値	
	現状防御できる値	長期間防御できる値
CDV	160	640
CPV	40	160
CAV-1	40	160

ごくまれに基準値を上回る血中抗体価であっても、ストレスや、ステロイド剤や免疫抑制剤の服用により防御が十分働かないケースがあります。また、もし将来的に流行ウイルスが変異することがあれば、既存のワクチンでは十分な予防効果が期待できなくなる可能性も否定できません。

弊社がご提供している基準値は過去に研究者たちが提唱した値を参考にして最も妥当と考えられる値に設定されており、本基準値を用いた論文がこれまで複数の国内外の学術誌に掲載されております。(Taguchi et al. Can Vet J 2011;52:983-986 など多数)

また、本基準値は弊社の検査系に関するものであり、他社の検査結果には適用することができませんのでご注意ください。